|  |
| --- |
| ５　高等学校　全学年 |
| 地域社会の安全への貢献について考えよう |
| 指導する学年 | 全学年 | 指導場面 | ホームルーム活動 | 指導する時数 | １時間 |
| 単元のねらい | 自らの安全を確保する方法を理解し、いざという時に適切な行動を実践する力を身に付けるとともに、地域社会の安全にも貢献する大切さについて理解を深める。 |
| 使用する資料 | 県内の声かけ事案や不審者情報犯罪認知件数の推移県内の高校生自主防犯組織の活動 | 基本的な指導内容 |
| ２ 犯罪被害にあわないために４ 地域社会の一員として |
| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
| **導　入**１．不審者の情報や新聞記事から犯罪事例を紹介する。※高知県警察ホームページ参照　　「こうちのまもり　データ・ボックス」・声かけ　　　　・わいせつ・つきまとい　　・誘い込み・盗撮　　　　 ・露出　等【参考事例】（例１）６月２４日（月）８：２０頃　つきまとい　危険行為発生場所 高知市桟橋通マンション駐車場 被害者 高校生　男 　不審者 性別 男　 年齢 30代 　身長 不詳服装・身体特徴 不詳事案概要 男子高校生が、自宅マンション駐輪場で自転車に乗ると、自転車に乗った男が近づいてきて、進路妨害や幅寄せ、傘で叩くなどしてきたもの。（例２）７月３日（水）７：４０頃　声かけ等発生場所 高知市曙町２丁目付近 被害者 高校生　女 　不審者 性別 男　 年齢 30代 　身長 175cm位 服装・身体特徴 やせ型、ポロシャツ事案概要車に乗った男が現れ「学校へつんで行ってやろう」と声をかけられ、女子高生が断ると、降りてきて左腕を掴んで車に押し込もうとしたもの。**展　開**犯罪から身を守るとともに自分たちにできることを考えよう２．事例のようなことから身を守るためにはどうすればよいか考えたことを発表する。※どうすればこうしたことに巻き込まれずに済むのかワークシートに書き込む。個人で書き込んだ後に班、グループで出し合いまとめて発表する。・**一人にならない**　・**集団**で移動・**あやしい車や場所**に近づかない・**入りやすく見えにくい場所**を避ける（高い塀のある公園や空き地、背の高い草むら、人通りの少ない道、暗い場所）※出てきた意見の共通点や相違点を洗い出し、犯罪から身を守る方法を全員で確かめる。３．県内で活躍している学生の自主防犯組織を紹介する。・室戸高校の子ども安全みまもり隊・自主防犯組織（佐川中学校）・嶺北高校の嶺北フリューゲルス・高岡高校サンスマイル等の活動を紹介する**まとめ**４．ワークシートに犯罪を防ぐために自分たちができること、やろうと思うことを記入する。地域社会の安全に貢献することの大切さについて理解し、進んで活動しようとする気持ちをもたせる。≪一口メモ≫○地域の防犯を担当している方や警察にゲストティーチャーとして来ていただき、犯罪から身を守るためにできることを話してもらうという方法も考えられる。その場合は授業のねらいからはずれないよう事前の打合せを行っておく。＊地域の自主防犯組織などの活動に参加してみましょう。　**県内で活動している（学生）自主防犯組織**・嶺北フリューゲルス　　　　　　　　　・高岡高校サンスマイル・中村高校あんぜん隊　　　　　　　　　・AKV安芸高校防犯ボランティア・清水高校ボランティア部　　　　　　　・香美パトロール（山田高校）・佐川高校地域まもる隊　　　　　　　　・佐川中学校・子ども安全みまもり隊（室戸高校）　　・はたのう防犯ボランティア・DAC（太平洋学園）　　　　　　　　　 ・STH（宿毛工業高校） | ○不審者情報や新聞記事の犯罪事例は、身近に起こりうる事例であることを伝える。（**下記事例を選定する時は、生徒のプライバシーや心理的状況等に十分配慮して選定する**）・不審者情報の事例について解説し、生徒から出た意見を取り上げながら進める。○できる限り多く、犯罪から身を守る方法を想起させる。その際に、個人だけではなく自分たち学生が協力して、犯罪を防ぎ、身を守ることができないかという視点を教師の方から生徒に投げかける。班・グループ活動では①出てきた意見を批判しない。②奔放なアイデアも歓迎する。③質より量を重視する。④他のアイデアを修正、改善、発展、結合する。○同年代の生徒の活動を知らせ、地域の自主防犯活動への意欲を促す。**評　価**地域社会の安全に貢献するために、自分たちにできることを考えている。 |
| 関連する教科・行事等 | 登下校時 |